

ワン・モア・ステップ

あびこプラス・ワン賛助会通信

2018年9月4日第1号

今けやき教室では



8月の教室はお盆休みを除いた三日間で、生徒44名とスタッフ49名、延べ93人が出席しました。生徒の皆さんは大抵宿題を持ってきていました。

スタッフの説明に耳を澄ましたり、何か質問している子、一人で算数の問題をやっている子など、みんな勉強に向かっていました。

8月最後の日にアンケートを取りました。そこで13人の子が「返事」をくれたので、その一部を紹介します。

「ここにきて勉強するという習慣がついた」(中一男)「勉強する時間ができた」(中一男)「分からないことが聞けてできるようになる」

(小6女)「学校で質問ばかりできないけど、ここはできる」(小6女)「日本語だけでなく数学も学びたい」

(パキスタン籍中1男)「分からないことをわかるまで教えてくれる」(中3女)「分からない所がわかるようになった」(中3女)「つまずいているとき、教えてくれ

て、家で勉強に生かしている」(中1女)「困ったとき

先生が親切に教えてくれる」

そしてこの日初めてきたスタッフを紹介すると、生徒も興味深げに「よろしくお願ひしまアす!」という声が自然に帰ってきました。

けやき教室では、8階の第一会議室と第二会議室、10階の大、小会議室の4部屋を使っています。



10階の小会議室では、パキスタンの兄妹がS先生と日本語をやり、時々楽しそうな声が聞こえました。

大会議室では、この日は高校生が休みで、80を超えた女性がスタッフのI氏と数学の話をしていました。

またフリースペースでは、今春大学生になったA君が英語の学習をしていました。

「分からないところがあれば、見ましようか?」と声をかけると、「大丈夫です」と一人でやっていました。彼は時々やってきて一人で黙々と勉強します。

うれしい話

～その1～

プラス・ワンの“卒業生”が、テレ朝スーパーJチャンネルで、自主夜間中学のことを話していました。26歳で定時制高校に合格し、今4年生です。一度高校へ

行けなくなり、引きこもっていましたが、プラス・ワンを訪ねてきて、高校受験にチャレンジしたのです。

～その2～

我孫子市内に私たちと同じような学習援団体が増えています。4月に布佐で「布佐学習教室」が始まりました。地域の人たちが、小学生の放課後の家庭学習を皆で見ようと、学校と連携して始めたのです。そして布佐南近隣センターで5つ目の教室もできました。

プラスワンとも協力して、子どもたちが勉強で学校生活が楽しくなるように応援しようと話し合っています。



この夏は…

“私たち”が経験したことのないような暑さでした。最近「冷夏」という声も聞かれません。

私たちが小学校の頃は、30度を超える日が数日あるくらいでした。

今年は全国で災害が多く聞かれる中、我孫子では大きな風水害には会わず実りの秋を迎えられそうです。



(文責相澤)